

# 今昔雅楽集 七夕の宴

【出演】 伶楽舎 れいがくしや

【演目】

芝祐靖復曲・構成・露台乱舞

雑芸 白薄様

管絃 平調音取、越天楽

朗詠 二星

阿音三返

雑芸 早鬢多々良

管絃 王昭君

乱舞と今様 萬歳楽 池の涼しき

雑芸 伊佐立奈牟

芝祐靖復曲・曹娘禪脱より

(正倉院復元楽器版)

角調調子

序

禪脱

颯踏

宮田まゆみ・滄海(正倉院復元楽器・竿)

独奏・宮田まゆみ

武満徹・秋庭歌

\*16時45分から伶楽舎メンバーによる  
プレトークがございます。



Gagaku - Japanese Court Music - from Times Past: Feast of the Seventh Night of the Seventh Moon

Reigakusha, Gagaku Ensemble

Program

Sukeyasu Shiba, reconst.: Rodai-rambu

Sukeyasu Shiba, reconst.: Soro-kodatsu

Mayumi Miyata: Umi

Toru Takemitsu: In an Autumn Garden

Saturday, July 7, 2018. Open 16:30, Pretalk 16:45, Start 17:00

Art Tower Mito, Concert Hall ATM

¥3,500, Youth(under25)¥1,000

2018年7月7日[土]

16:30開場\*16:45プレトーク\*17:00開演

水戸芸術館コンサートホールATM

料金(全席指定):一般3,500円・ユース(25歳以下)1,000円

\*ユースチケットの取り扱いの水戸芸術館のみ。

©チケット発売:2018年2月24日[土]

財団運営維持会員先行予約:2月20日[火]\*電話予約のみ

友の会(一般、法人)会員先行予約:2月21日[水]\*電話・Web(要登録)予約のみ

主催:公益財団法人 水戸市芸術振興財団

水戸芸術館  
ART TOWER MITO

今は昔、平安京の大内裏、紫宸殿と仁寿殿の間には、屋根のない大床、すなわち露台があり、そこでは公事を終えた殿上人らが集って歌い舞い、酒を飲んで楽しんだと謂われています。

〈露台乱舞〉。ここに千年の時を経て、平安貴族の歌舞の宴が舞台作品となって甦りました。復曲・構成は、宮内庁楽部出身の楽師、芝祐靖。氏が音楽監督を務める雅楽団体「伶楽舎」の演奏は、本来の雅楽が儀礼音楽にとどまらない、豊かな表情をもった芸術であることを、私たちに教えてくれます。

奈良時代に日本にもたらされ、平安時代に隆盛を極め、現代まで受け継がれてきた伝統音楽「雅楽」。その長い歴史のあいだには、

## —— 当代屈指の楽師の集う「伶楽舎」 七夕の夜に奏でる 雅楽の今と昔 ——



### 伶楽舎 (れいがくしゃ)

Reigakusha, Gagaku Ensemble

雅楽の合奏研究を目的に1985年に発足した雅楽演奏グループ。音楽監督・芝祐靖。現行の雅楽古典曲以外に、廃絶曲の復曲や正倉院楽器の復元演奏、現代作品の演奏にも積極的に取り組み、幅広い活動を展開。国内各地の他、海外の主要ホールに招聘されて演奏。古典曲や現代曲、復元曲のCD等も多数録音。現代作品や古典雅楽様式の新作として、これまで湯浅譲二、池辺晋一郎、増本伎共子、西村朗、猿谷紀郎、権代敦彦、伊左治直、芝祐靖他に作品を委嘱、自主公演で初演。2002年中島健蔵音楽賞特別賞、CD『秋庭歌一具』で2002年度芸術祭レコード部門優秀賞受賞。第16回(2016年度)佐治敬三賞受賞。他に、解説入りの親しみやすいコンサートを企画し、雅楽への理解と普

及に努め、子どもや小中学生のためのワークショップなども数多く開催している。なお「伶楽舎」とは「伶楽楽遊舎」、即ち、楽人の祖とされる古代中国の「伶倫」に因み、雅楽の源と新しい雅楽の創造を探索する、自由な活動を目指してつけられた会名である。

国内では、国立劇場、サントリーホール等主要ホールでのコンサートの他、全国の小中学校で公演。海外では、タングルウッド(セイジ・オザワ・ホール)、ニューヨーク(リンカーン・センター、カーネギー・ホール)、ロサンゼルス(ウォルト・ディズニー・コンサートホール)、シカゴ(シンフォニー・センター)、ロンドン(クイーン・エリザベス・ホール)、アムステルダム(コンセルトヘボウ)、ケルン(ケルン・フィルハーモニー・ホール)他、約30都市で演奏。

<http://www.reigakusha.com>

<https://www.facebook.com/reigakusha>

失われたものも、決して少なくありません。東大寺正倉院には、かつて使われていたはずの様々な楽器が残されており、今日伝わる古い楽譜のなかには、伝承の途絶えた謎多き楽曲も存在しています。

現代に生きる雅楽人たちは、雅楽の源流を見直し、伝統を未来に伝えるべく、廃絶曲の復曲や新作の上演に取り組んできました。平安朝随一の横笛の名人・源博雅編纂の楽譜に記された古舞曲〈曹娘禪脱〉。笙奏者・宮田まゆみが古代楽器・笙(笙の低音楽器)のために作曲した〈滄海〉。20世紀日本を代表する作曲家・武満徹による新作雅楽の名曲〈秋庭歌〉。今に残る古典曲と失われた音楽、そして新たに生まれた音楽——七夕の夜、雅楽の今と昔が出逢います。



### 宮田まゆみ (笙・笙)

Mayumi Miyata, Sho, U

国立音楽大学ピアノ科卒業後、雅楽を学ぶ。古典雅楽はもとより、ジョン・ケージ、武満徹、ヘルムート・ラッヘンマン、細川俊夫など現代作品の初演も多く、小澤征爾指揮サイトウ・キネン・オーケストラ、シャルル・デュトワ指揮NHK交響楽団、アンドレ・プレヴィン指揮ニューヨーク・フィル他、国内外のオーケストラと数多く共演。東京、ニューヨーク、ウィーン、ロンドンなどでのリサイタルと幅広く活躍している。2016年に行った『甦る古譜と現代に生きる笙 シリーズIII』によって2017年芸術選奨文部科学大臣賞を受賞。今までに芸術選奨文部大臣新人賞、中島健蔵賞、佐治敬三賞、松尾芸能賞優秀賞など受賞。国立音楽大学客員教授。伶楽舎メンバー。

#### ●チケットの取り扱い

水戸芸術館(9:30~18:00/月曜休館)

・エントランスホール内チケットカウンター

・水戸芸術館チケット予約センター 029-231-8000

・ウェブ予約 <https://www.arttowermito.or.jp/tickets/ticket.html>

E+ (イープラス) <http://eplus.jp> (PC・携帯)

かわまた楽器店 029-226-0351

ヤマハミュージッククリテイング水戸店 029-244-6661

#### ●ユースチケットについて(枚数限定)

◎25歳以下の方が対象のお得なチケットです(未就学児不可)。

◎ご購入いただきましたご本人様のみご利用いただけます。

◎当日ご入場の際には、年齢を証明するものが必要となります。

◎取り扱いは水戸芸術館のみとなります。

●交通ご案内:JR常磐線水戸駅北口より、

バスターミナル4~7番のりばから泉町1丁目下車、徒歩2分。

水戸芸術館 水戸市五軒町1-6-8 〒310-0063

TEL.029-227-8111 <https://www.arttowermito.or.jp/>



◎車椅子のお客様、盲導犬、介助犬同伴のお客様は、指定の座席へのスムーズなご案内のため予約時にお知らせください。

◎公演中止の場合を除き、一度購入されたチケットの払い戻し、交換等は出来ませんのでご了承ください。◎公演の内容、曲目等は、変更になる場合があります。◎未就学児のご入場はご遠慮ください。